

# 村だより

DEWA SHONAI INTERNATIONAL FORUM

dewashonai



きょうがつ いわ かい  
旧正月を祝う会



とく しゅう  
特集

みんぞくかん とくべつきかくてん こくさいりかいきょういくむ  
アマゾン民族館特別企画展 / 国際理解教育に向けて

こくさいこうりゅうだんたいしゅうかい  
国際交流団体紹介

つるおか たがわにっちゅうゆうこうきょうかい つるおか  
鶴岡田川日中友好協会、鶴岡ライオンズクラブ

出羽庄内国際交流財団会報

vol. 31

Quarterly



みんぞくかん  
アマゾン民族館

かいかんじかん  
開館時間 9:00 ~ 17:00

まいしゅうどようびは、しょうちゅうがくせいにいゅうかんむりょう  
毎週土曜日は、小・中学生入館無料!

そうげんせいかつぶんかてんがつかど  
モンゴル草原の生活と文化展 3月8日(土)から



# 生活と文化展

of the Mongolian Steppes Life and Culture

2004年2月14日(土)

## オープニングセレモニー 入館料無料

開催にあたって

抜けるような青い空。果てしなく広がる緑の草の海。芳香を發する草をはむ羊や山羊の群。モンゴルと言えば、こうした大草原のイメージが思い浮かんできます。モンゴルの国土は「ステップ回廊」と言われるユーラシア大陸の温帯草原地帯にあり、チンギスハーンの生誕の地であり、ヨーロッパを震撼させた騎馬軍団發生の地でもあります。

北部には針葉樹林帯があり、南部にはゴビと呼ばれるまばらな草が生える半砂漠があります。しかし大部分は草原となっていて、モンゴルの草原率は国土の79%を占めて、世界の「草原の国」となっています。

乾燥し、かつ寒冷なモンゴル高原では、自然環境に適応した「游牧」が古くから行われてきました。游牧民達は、五畜と言われる羊、山羊、牛、馬、ラクダの群れを、四季に応じて牧草地を移動させます。彼らは「ゲル」という、木とフェルトで出来た分解、組み立てが簡単な円形の移動式住居に住んでいて、生活の大部分を家畜に依存しています。乳で乳製品を作り、毛からフェルトを作成し、最後に肉や毛皮、皮革として利用します。最近では、純粋に游牧生活を送る人は年々減少していますが、モンゴル人の誰もが草原の生活に郷愁を抱いています。

この特別展は、私が三年連続でモンゴル各地を調査した際に収集した約400点の

資料が中心となっています。動機となったのは、モンゴルからの留学生との出会い、そして以前読んだ国立民族学博物館、梅棹忠夫先生の「モンゴル研究」でした。

モンゴルの広大な草原で、自然と家畜と人間の生態学的バランスの上で営まれる自給自足的な畜産経済は今、世界的にも注目されているスローライフの先端を行くものと言えるでしょう。

この企画展を通して、大草原のロマンを感じていただければ幸いです。

アマゾン民族館  
館長 山口吉彦



ドゥルウッド族の夏の宿营地





2003年3月8日(土) 10:00より

大自然と伝統文化が残る  
草原の国「モンゴル」



モンゴルは中央アジアの東部に位置し、首都はウランバートル。国土の総面積一五六万五、〇〇〇km<sup>2</sup>。東西の距離二、三九二km、南北一、二六六kmです。国土の大部分が草原で、残りが森林とゴビと呼ばれる砂漠地帯です。内陸型の乾燥した気候で、夏は四五月、冬は十月から三月まで、真冬はマイナス四度を下回ることもあります。モンゴルの夏は約一ヶ月と短く、一年の約半数は氷点下になります。人口は二四〇万人になっています。

オープニングセレモニー  
お知らせ

三月八日(土)アマゾン民族館でオープニングセレモニーが行われます。十時よりテープカット。続いて、館長による特別展示の説明。十一時よりモンゴル大使館文化担当官タワール・ジャルガル氏による講演も行われます。当日は、アマゾン民族館入館料が無料となります。

毎週土曜日は  
小・中学生無料の日

アマゾン民族館は「遊びながら学ぶ」がキーワード。知的好奇心が膨らむもうひとつの遊び場を目指しています。クイズラリー、オリジナルぬりえ、世界の楽器などなど、いつでも楽しめます。毎週土曜日は小・中学生入館料無料です。この機会を利用して遊びに来てください。お待ちしております。



羽庄内国際村発  
出  
お

# 『世界中のぼく・わたし』のために

## ～国際理解教育にむけて～ Part 2

前回の「村だより」(三号)では、国際理解教育や開発教育に取り組み学校の皆さんに向けた情報をお伝えしました。今回も引き続き、前回お伝えし切れなかつた情報や事例、国際理解教育に思いを寄せる方々の声をお伝えします。

国際村には、昨秋以降もいくつかの学校から、総合学習、国際理解の分野での協力依頼や相談がありました。先生方とお話していくうちに、いろいろな可能性が見えてきました。こういった話し合いを重ねて行くことは、様々な形で世界と学校をつないでいくために重要な過程だと実感させられました。また学習の後で、皆さんからのお便りを頂くこともありました。子どもたちが学習の中で、何をどう感じたのか、子ども達自身の声で伝えていただいたのは本当に嬉しいことでした。

### タイへの支援について学んでいたある六年生のクラスの続きのはなし

前回、ある小学校の六年生が、「国際協力」という観点から、庄内の人達がタイへの支援をしていくことを学んだことをご紹介しました。

去年の十二月、この六年生の皆さんから、最終的な活動のまとめと、お便りをいただきました。活動の内容や、子どもたち自身がどう感じたかがとても伝わってくるレポートでした。ここで少しご紹介させていただきます。

タイへの支援を調べることにした皆さんは国際村でもっと具体的に話を聞くことにしました。タイの「子どもの村学園」というところに支援を続けてきたアマゾン民族館の山口館長から、スライドなどを使ってさらに詳しい話を聞きました。

具体的なことが見えてきた学級では、話し合いを重ね、バザーや衣類集めなどを行って子どもたち自身が支援活動に参加することにしました。全校に収集活動の協力をお願いして、夏用子供服や楽器の収集を行いました。

文化祭ではバザーを行い、寄付金を集めました。また、子ども達の村学園に行つたことのある「ジュニア民間大使」の方々に、実際行つた時の様々な話を聴いたりもしました。

皆さんの感想文をみると、試行錯誤をし、失敗だつたと思えることもあつたようです。しかし一つの目的に向かつて、みんなで調べ、話し合い、活動していく中で、子ども達自身がどんな力をつけていったことがよくわかりました。日本からは遠い存在であるはずのタイという国やそこに住む子どもたちが、ぐんと近くに感じられたに違いありません。

世界中の自分を実感する糸口は、国際協力に限らず、あらゆる方面に広がっています。国際村では、様々な観点から子どもたちが世界の中の自分を発見するためのお手伝いをこれからも続けていきたいと考えています。



夏服や楽器の収集活動を行いました。



文化祭では、バザーを行い、寄付するお金を集めました。



ジュニア民間大使の方達と話し合うこともできました。

# こんな idea あります

ビデオインタビュー  
ある小学校では、外国からの市民の方々に、「ビデオインタビュー」をして、教室とつなぐ授業をしました。平日なかなか時間の取れない方からもお話を聞くことができ、話し手の表情もわかる一つの方法です。

## 「こんな授業がしてみたい」

国際村が学校のお手伝いをするとき、先生方や児童・生徒のみなさんの希望・アイディアによっては可能性がぐんと広がります。また学校の中だけにとどまらず、今海外で活躍している皆さんが持っているアイディアも、皆さんにご紹介していきたいと考えています。

## みなさんの声大募集!

国や地域の人と生活を知る

鶴岡市出身で、現在シニア海外ボランティアとしてポリビアで活躍されている阿部久雄さんからは、次のようなお便りがきました。「他の国の生活や文化等を本当に理解するには、うわべだけの事柄だけではできないと思っています。そこに暮らしている人達を知ることが大切です。ここポリビアの先住民の子どもたち（学校に行けない子どもたちが多く、五、六歳から生活のために働いている子どもたちもいる）に『あなたの将来の夢は何ですか?』と尋ねたら、どう答えるでしょうか?そんなことを考えてみるのも、一つの糸口になるのではと思います。」

### 絵の交換交流募集!

阿部さんによると、スペイン語を使っているポリビアでも、絵の交換などを通して、お互いの生活を知ったり、交流したりできるそうです。阿部さんの知り合いの小学校の先生も、もしそういった希望のある学校や小学生がいたら考えてみます、とのこと。興味のある方は、是非国際村までお問い合わせください。

## 国際協力事業団東北支部からの

問合せ(財)山形県国際交流協会 ☎023 646 6267

## お知らせ

### 世界をのぞこう

### サーモンキャンペーン

あなたの身近に国際協力に携わっている人がいます。

開発途上国に赴いて、その国の抱えるいろいろな問題の解決を目指す国際協力。青年海外協力隊員は、問題の根底にある貧困を無くすことを目標に環境保全、食糧増産、交通体制の改善などその国の人々と共に日々努力しています。

国際協力事業団では、そんな経験を培って山形に帰国した青年海外協力隊員や専門家、そしてJICA職員、また逆に開発途上国から技術を学びに来ている研修員の方々を学校(小・中・高校、大学等)や国際交流団体、地方自治体に派遣する事業「サーモンキャンペーン」を実施しています。

厳しい環境の中でも、現地の人々と試行錯誤しながら目標に向かって進む姿や人生観、またその国の文化や習慣の紹介など、メディアからは中々得られない貴重な実情を聞くことができます。ぜひ総合学習や市民講座などにご活用ください。



### 平成十五年度

### 教師海外研修のご案内

この夏、国際理解教育、開発教育に心をもち、国際理解教育、開発教育に心をもち、先生方を対象にした海外研修を実施します。この研修は、開発途上国の社会教育事情や開発途上国で行われている様々な協力活動の視察を通じて、子どもたちの国際理解・国際感覚の養成につなげてもらうことを目的にした視察研修です。

主に基礎協育、保健医療、WID(ジェンダー)、自然環境保全の協力活動を中心に視察していただきます。派遣国はフィジー(対象:小学校教諭)、ガーナ(対象:中学校教諭)、バンラデシ(対象:高等学校教諭)です。研修日程は平成十五年七月三十一日から十日間、募集締切は四月三十日必着です。



あき  
**秋**  
2002

# こんなことがありました

ふゆ  
**冬**  
2003

～ 心に残るたくさんの思い出を、カメラレポートで贈ります ～



2002.11.6

ワールドクッキング



2002.11.4

チャリティーコンサート



2002.10.4

ハロウィン



2002.11.16

ワールドキッズ

これらの写真は、大勢の方々の協力で実現することができたその瞬間を記録した、大切な宝物です。  
ハロウィンでは、メインのかぼちゃが手に入らず、頭を悩ませていたところ、地元農家の方に譲っていただけるとの事となり、ようやく開催の目途がつかえました。それに加えてA・L・Tの皆さんが個性あふれるパーティーを子どもたちにプレゼント。今や恒例行事となったチャリティーコンサートは、入場者・出演者・ボランティアスタッフ・主催者全員が一つになれる温かなコンサートです。



2003.2.20

フレンドシップサロン



2002.11.17

器の会

トです。庄内在住の外国人の方々を対象にした管内施設見学会・日本の家庭料理を教わる器の会。またチャリティーダンスパーティーでは、収益金を地域の国際交流活動に役立てて欲しいとのご好意で、国際村に寄附されることになりました。  
このように国際村の事業は、国籍を問わずたくさんの方々に支えられているのです。これからも、国際村で開催される事業や楽しいイベント、皆さんといっしょに考えていきましょう。



2003.2.8

旧正月を祝う会



2002.11.23

世界の民族衣装のお話



2003.1.12

チャリティーダンスパーティー



2002.11.24

管内施設見学会



2002.12.15

サンタさんと撮影会



2002.12.22

ワールドファミリークリスマス

# 国際交流員 通讯

## NEWS FROM THE INT'L EXCHANGE OFFICER

こくさいこうりゅう  
国際交流  
せんもんいん  
専門員からの  
お知らせ

国際村作为出羽庄内国際交流財団の所在地，它是鶴岡市和庄内地区的国際交流中心，在这里除了定期或不定期地举行各种国際交流活动外，还常年举办日语及英语、中国語、法語、韓国語、俄語、西班牙語、德語等外語講座，还有料理、插花、茶道等专门介绍日本文化的讲习班。通过这些活动可以使外国人、日本人互相了解对方的生活习惯及文化，从而促进和加深相互间的交流和理解。另外，近年来随着在住外国人的不断增加，国際村加强了对外国人的援助和指导，同时开设了免费生活咨询窗口，为遇到各种困难的在住外国人提供方便。作为国際交流員，我愿为各位提供各种帮助，无论你在生活、工作、家庭等方面遇到什么困难，都希望能与我们取得联系，我们可以帮助你解决因语音不通所产生的误解和障碍，还能为您出主意想办法解决您的难题，同时也能使我们了解和掌握大家在异国他乡所遇到的各种困难，进而同相关部门取得联系，使问题能尽快得到解决。这样对我们的工作也是一个支持和促进。虽然我们国際村不一定能解决大家的所有问题，但是我们会尽全力为各位排忧解难。在此，衷心祝愿各位能尽快地适应新环境，适应庄内的生活，工作愉快地度过每一天。

欢迎各位朋友充分利用国際村。来电话或直接来国際村都行，国際村的每一位工作人员都会热情地接待您。

国際交流専門員の場と申します。皆さんが外国の事と関わっている時、言葉、習慣、文化の違いによって、困ることはありませんか。もしありましたら、ぜひ声をかけください。なお、中国語通訳や翻訳のボランティアの方を募集していますので、興味のある方は国際村までお電話ください。お待ちしております。

Hello from Dewa Shonai International Forum. Welcome to our new information page, just for you, our international English and Chinese speaking friends. Look here in upcoming issues of the Mura Da Yori for information regarding upcoming events, ongoing educational opportunities, volunteer positions, and useful tidbits for Living the Life of a foreign national in Shonai.

Our greatest need now is for two new English language teaching volunteers. Dana and Erik are leaving us in the summer, so we will have two gaps in our volunteer staff starting in September. If you're a native English speaker and you like to give back to the community that so generously supports us, how about spending 60-90 minutes a week sharing the love? The schedule is flexible, and we can provide a little financial support to put towards your weekend getaway to Tokyo or whatever.

We have several things to bring to your attention this time around. Perhaps many of you are familiar with our free Japanese language lessons on Sundays at 2 p.m. and on Tuesdays at 7. These classes provide a terrific way to connect with others around Shonai, make new friends, and learn not only language but also cultural skills necessary for smooth sailing in the sea of Japanese life.

Other languages happening regularly are our French class (taught by Charles), our Chinese class, our Hangul (Korean) class, our Spanish class, our Russian class, and our newest, the German Study Circle, led by the indefatigable and brilliant Tony. Call for times and details.

Spring is sort of our down time for regular events, but you can still find Japanese cooking classes for ¥500 on Sundays, and other sundry get-togethers. Keep checking in with the Forum for details.

Call the Forum at 0235-25-3600. Ask for me or Sachi, or any of the other staff. That's all for now. Nose back to the grindstone.

Phil  
Int'l Exchange Officer

# 国際交流団体紹介

~ 庄内に広がる国際交流 ~

## 鶴岡田川地区日中友好協会

日中友好会は、1982年に設立され20周年を迎えましたが、この間、日中友好促進のため、訪中の派遣や中国映画の上映会、また中国人留学生との交流や中国語講座などを行ってきました。

かいいんすう にん  
 会員数：90人  
 ていれいかい そうかい やくいん かい ほか ひつよう おう  
 定例会：総会、役員会の他、必要に応じて  
 かい ひ ねん えん  
 会費：年3,000円  
 かいちよう とみづか ようち つるおか し ちよう  
 会長：富塚 陽一 鶴岡市長  
 れんらくさき じ むきよくちよう う つ い とし お  
 連絡先：事務局長 宇津井 俊雄  
 やまがたしんぶんつるおか し しゃ  
 山形新聞鶴岡支社 (TEL 22-2810)  
 または、鶴岡市国際室 (TEL 25-3600)

1982年に設立され20周年を迎えましたが、この間、日中友好促進のため、訪中の派遣や中国映画の上映会、また中国人留学生との交流や中国語講座などを行ってきました。

さらには、姉妹提携を結び交流を深めてきた中国山西省太原市の日本語学習団体・太原日語晨会（白松鶴会長）の日本語教室開設のため、募金を募り支援を行いました。太原日語晨会では、市街地の中にある広場で、連日早朝約200人の会員が学んでいましたが、天気の良い日には開けないこともありました。1998年、市第二職業中学校内に念願の教室が開設されました。

本協会中国語講座は、4月から12月まで毎週一回、中国からの留学生を講師に、中央公民館を会場に入門、初級、中級コースに別れて開催されています。15年度を受講生を、3月いっぱい募集しますので、希望される方大歓迎いたします。



中国からの留学生・家族と協会設立20周年を祝いました。

## 鶴岡ライオンズクラブ

文化交流に加え、産業面でも現場の人達と情報交換

かいいんすう にん  
 会員数：49人  
 ていれいかい つき かい だい すいよう び  
 定例会：月2回（第1・3水曜日）  
 かい ひ ねんかい ひ えん  
 会費：年会費120,000円  
 かいちよう なりさわ しゅういち  
 会長：成沢 正一  
 れんらくさき つるおかさんぎょうかいかん  
 連絡先：鶴岡産業会館3F  
 ライオンズクラブ合同事務局  
 TEL 28-1128 / FAX 28-1127

1963年に設立。1995年2月の鶴岡市とラフォア市との友好都市盟約締結時に当クラブ員も関係したことがきっかけとなり、その後、小中学生の交互訪問時に友好協会役員等との交流を重ね、2000年10月、ラフォアLC【ライオンズクラブ】との友好クラブ盟約を締結。毎年ラフォアLCを訪問し、交流を深めています。

市の交流は文化交流が主であります。ライオンズクラブでは文化交流に加え、産業面でも情報交換を行っております。昨年11月には近隣クラブ員15名で産業視察訪問、農業試験場、幼・中学校を訪問し、現場の人達と情報交換を行いました。

天国に一番近い国と言われるニューカレドニアを訪問する観光客が増え、その一助になるべく会員一同勉強に、PRに余念がありません。異文化の交流はその民族の発展に大きく寄与することから、今後もLCを通して更なる交流を行い、互いに理解し合い、発展に努力して行きたいと思っております。



ラフォアLCの方々と昼食会